

テーマ 政治

選挙運動で SNS 利用は認めていいの？

I 「推しの政治家を応援！」 ～選挙運動は SNS の時代へ？～

p.151 の 3 コマ漫画と相談者の発言を読み、SNS 上で好評を得ていた候補者が落選する結果となったのはなぜか、あなたの考えを書いてみよう。



相談者

私には、応援している政治家がいます。きっかけはSNSで流れてきたショート動画です。日頃思っていることをはっきり言ってくれる姿を見るとスカッとしますし、同じ政治家を応援する仲間も大勢います。でも、SNS上では彼女を絶賛する意見ばかりだったのに、結果は落選だったのです。私の見ていた情報は何だったのでしょうか…。

あなたの考え…

相談者は SNS 上で、こうきょう花子氏に肯定的な意見ばかりを見ていたが、それは世の中の実態とは異なる偏った情報だったから。

II 選挙での SNS 利用とは

公職選挙法において次の①～⑥のような選挙運動は認められるか、p.151 の表を見ながら、可／不可のうち当てはまる方に○をつけよう。

① 投票日当日に、選挙結果を予測する動画を視聴し、自分の SNS アカウントでフォロワーに向けて「共有」した。	(可 ・ 不可)
② 投票日前日に、自分の応援している候補者の動画サイトの公式アカウントをフォローし、投稿された動画 10 本に「いいね」ボタンを押した。	(可 ・ 不可)
③ 投票日の翌日に、選挙結果に対する感想を自分のブログに書き込んだ。	(可 ・ 不可)
④ 特定の候補者を応援するアカウントを作成し、投票日当日まで毎日欠かさず街頭演説の「切り抜き動画」をアップロードした。	(可 ・ 不可)
⑤ 友人にチャットアプリである候補者への投票を呼びかけたら、投票日当日になって返信がきたので、再度メッセージで投票を念押しした。	(可 ・ 不可)

年	組	番	名前
---	---	---	----

Ⅲ 選挙での SNS 利用の是非をめぐるさまざまな意見 / Ⅳ 資料から論点を検証しよう

p.151-152 の資料を読み取り、次の問いに答えよう。

論点①：選挙での SNS 利用が進むと、有権者にとってよいことがある？

【1】政治・選挙情報の入手元	【2】エコーチェンバー現象
Q. 2015～25 年でどのような変化がみられるだろうか？ インターネットを使って政治や選挙の情報を得る人が、3 倍以上に増加した。	Q. エコーチェンバー現象とは何だろうか？ SNS 上で似たような考えをもつ人が集まることで、反対意見に触れる機会が減り意見が極端になっていくこと。

選挙での SNS 利用が推進されることは、有権者にとって（ プラス ・ マイナス ）である。
なぜなら…

SNS から得られる情報には偏りが生じやすいため、有権者がさまざまな情報に触れて判断することを妨げられてしまうから。

論点②：選挙での SNS 利用が進むと、民主主義にとってよいことがある？

【1】一発逆転を狙う SNS 戦略	【2】アテンション・エコノミー
Q. 大政党の支援のない候補者にとって、SNS はどのような価値があるだろうか？ 自分の名前や主張を、多くの人に知ってもらえる可能性がある。	Q. アテンション・エコノミーとは何だろうか？ SNS 上では、人々の関心が「投稿の閲覧数」という形で経済的な価値に変わるという概念のこと。

選挙での SNS 利用が推進されることは、民主主義にとって（ プラス ・ マイナス ）である。
なぜなら…

SNS 利用により、あまり有名でなかった候補者が注目されて政治家に多様性が生まれれば、多様な民意を反映した議会を作ることができるから。

Ⅴ 「公共的な空間」を生きる一員として、あなたはどうか考える？

選挙運動での SNS 利用について、下の思考ツールを使って自分の意見をまとめよう。

①事実 * 資料から読みとったことなどを書こう。 選挙での SNS 利用では、有権者が得られる情報が偏ることがあるが、無名の候補者がチャンスを得ることもある。	③主張 * 自分の考えに近いものに○をつけよう。 選挙での SNS 利用は、 （ 推進 ・ 部分的に推進 ・ 部分的に規制 ・ 規制 ） すべきである。
②根拠 * なぜ「①事実」から「③主張」が導けるのか、そう考えた理由や背景を書こう。 SNS 利用によりさまざまな候補者にチャンスが生まれることは、少数意見を反映するという意味で民主主義にとって良いことである。一方で、新聞やテレビなどと違って見られる情報が自動的に偏ってしまうために、有権者の判断材料として適切でないという点は改善すべきだと考えるから。	